

簡易郵便局を訪ねて 128

カフェのように立ち寄ってもらえる簡易局を目指して

月見野簡易郵便局（青森県つがる市）



局長
米谷 健

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



当局のあるつがる市は二〇二一年に北海道・北東北の縄文遺跡群の一つとして世界遺産に登録されましたが、縄文時代はずいぶんと栄えていたようで、私が小学生だった三十年ほど前には、学校の花壇を掘り返すと土器片がゴロゴロと出てくるような、縄文文化の眠る地です。また今年度から全国で初めての試みとして小中学校では隔週水曜日を午前授業にする取り組みが始まっており、教育関係者



遮光器土偶のモチーフが飾られた迫力ある駅

にとって働き方改革が最も進んでいる地域とも呼べそうです。私にとって簡易郵便局は前局長である父の姿を見ていたこともあり、物心ついた時から身近にある仕事でした。当局の前身は祖父が村役場の中で簡易郵便局を担当していたことから始まったようです。その後村役場から簡易郵便局を切り離して移転し、その後さらに現在の場所に建物を移転しています。私は郵政民営化の流れで変化が多かった時期から手伝いを始めて、自然と引き継いで局長となり、現在私が三代目となっています。局長となつてから、局の雰囲気づくりに特に気を配るようにしています。といいますのも、他の地域で利用した郵便局や父が運営していた簡易郵便局の雰囲気、良くも悪くも「郵便局」のイメージ

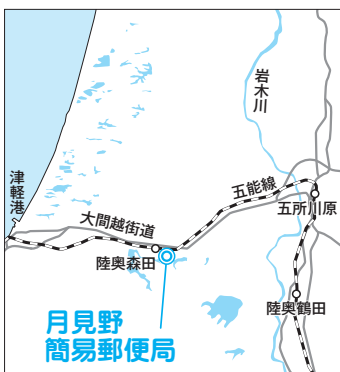
だったからです。利用するのに不便は感じないのですが、事務的で店舗の広狭に関わらず静まり返っている、特定の用事を済ませに来る所でした。そうではなく、郵便局の用事がなくとも立ち寄れる、立ち寄りたくなる郵便局になれるよう試行錯誤しています。

お客さまからよく「カフェみたい」と言っていたのですが、実は狙って手本にしているのです。カフェはコーヒーが飲めるから行くというより、カフェに行きたいからコーヒーを買っているお客さまがほとんどだと思います。そんな気持ちで当局を利用していただきたいと思っています。

また、局の近くの小学校では、低学年の生徒たちが社会の授業の一環で、当局に社会科見学に来てくれるのですが、子供たちの未来



月見野簡易郵便局外観



のためには何かできることはないかと考えています。店舗が狭く難しいかもしれませんが、放課後に小中学生が集まれるような場所にできればと思っています。今は簡易局として貢献できることはそれほど多くないかもしれませんが、地域の情報に目を配って探していきたいです。

住所 〒030-2816 青森県つがる市森田町森田月見野一四四・三



窓口の様子